

第31回東海高等学校新人大会

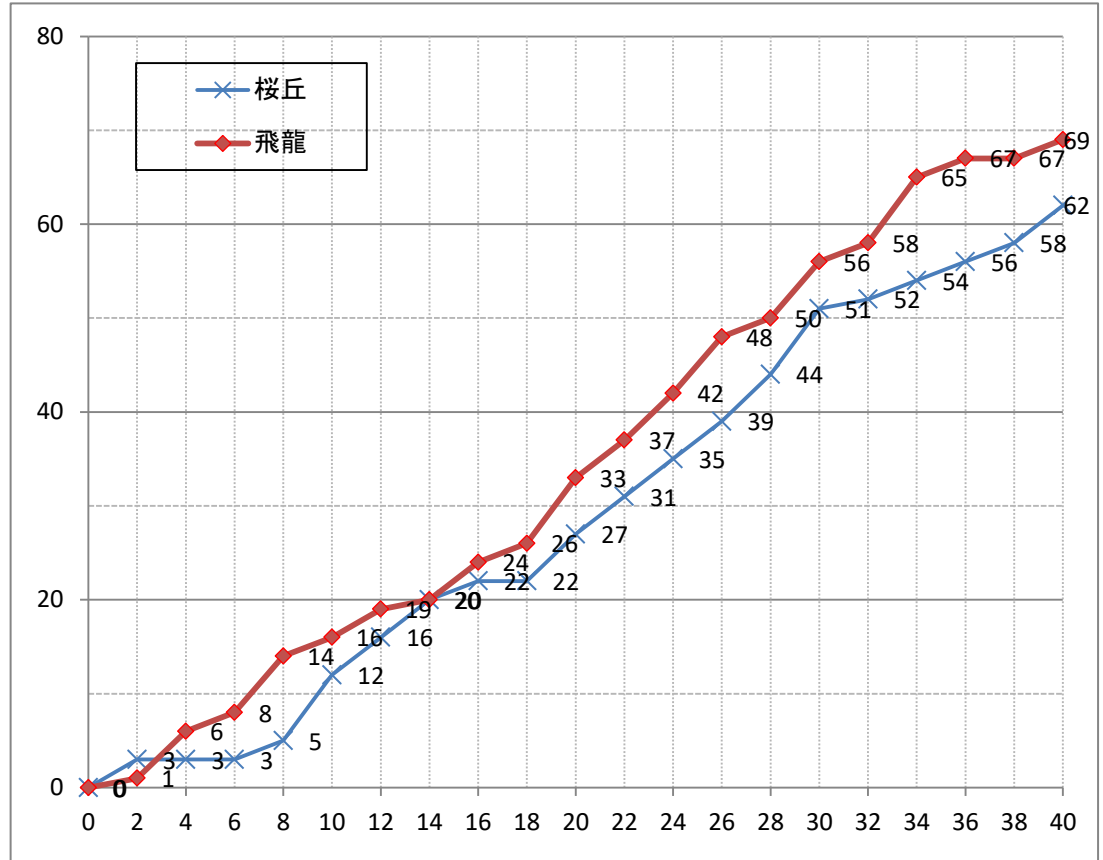
男子準決勝	
試合日	2018/2/11
会場	一宮市総合体育館
コート	B
開始時間	11:10

	TEAM A		TEAM B															
桜丘	62	飛龍	69															
愛知2位		静岡1位																
	<table border="1" style="margin: auto;"> <tr><td>12</td><td>-</td><td>16</td></tr> <tr><td>15</td><td>-</td><td>17</td></tr> <tr><td>24</td><td>-</td><td>23</td></tr> <tr><td>11</td><td>-</td><td>13</td></tr> <tr><td></td><td>OT</td><td></td></tr> </table>	12	-	16	15	-	17	24	-	23	11	-	13		OT			
12	-	16																
15	-	17																
24	-	23																
11	-	13																
	OT																	

TEAM A 桜丘 愛知2位							
No	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4		中澤 寛哉	2	0	1	0	2
5		原田 宗輝	3	0	1	1	0
6		小嶋 涼斗	0	0	0	0	1
7		大竹 敬也	4	0	1	2	0
8		藤田 龍之介	2	0	1	0	0
9	*	富永 啓生	36	4	11	2	4
10		大津 颯斗	-	-	-	-	-
11	*	村口 宗羅	5	0	1	3	0
12	*	ラボラス ベンツロバス	4	0	2	0	1
13		伊藤 唯翔	0	0	0	0	0
14		荻原 隆輔	0	0	0	0	0
15	*	宮田 大也	2	0	1	0	2
16		東 垂々人	-	-	-	-	-
17		木村 貴郎	2	0	1	0	0
18	*	山本 星矢	2	0	1	0	2
TEAM/COACH			/	/	/	/	-
TOTAL			62	4	21	8	12

TEAM B 飛龍 静岡1位							
No	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4		西尾 昂也	8	2	1	0	2
5	*	杉山 裕介	9	0	4	1	2
6		大武 海斗	0	0	0	0	1
7	*	原田 未央	9	3	0	0	3
8		原 千容	6	0	3	0	5
9	*	関屋 心	22	1	7	5	2
10	*	山村 祥太郎	6	2	0	0	0
11		藤村 夏生	-	-	-	-	-
12		松井 翔	0	0	0	0	0
13		色山 輝	0	0	0	0	0
14		関口 就斗	-	-	-	-	-
15	*	リュウ ヤハオ	9	1	3	0	2
16		中山田 海渡	0	0	0	0	0
17		杉本 敬太郎	-	-	-	-	-
18		高須 崇介	0	0	0	0	0
TEAM/COACH			/	/	/	/	-
TOTAL			69	9	18	6	17

【 得点経過 】



【 戦評 】

第1P 互いにハーフコートマンツーマンでスタート。序盤、桜丘はペリメーター付近のシュートがごとごとリングに嫌われ、早い段階で⑨富永をベンチへ下げる。対する飛龍は、ドライブからのレイアップ、キックアウトからの3Pシュート、飛び込みリバウンドと得意のスタイルを崩さずに着実に加点していく。攻撃のきっかけをつかみたい桜丘は⑨富永をコートに戻すと、その期待に応えた⑨富永が得意の3Pシュートを皮切りに連続7得点をあげるが、16対12と飛龍がリードを保つ。

第2P 桜丘はベンチメンバーを積極的に起用しディフェンスのプレッシャーを強めると、飛龍のリズムが崩れ始めるが、得点伸びずに逆転には至らず33対27とロースコアな展開で飛龍のリードで前半を終える。

第3P 桜丘は得意のスクリーンプレイからのパスワークで得点を重ね始め、途中⑨富永の連続3Pシュートなどで勢いに乗るかと思われたが、飛龍は⑨関屋のアグレッシブなプレイ、⑮リュウの連続シュートでリードを許さず、56対51とリードを守る。

第4P 飛龍は④西尾⑦原田の3Pシュートで突き放しにかかる。桜丘は⑫ラボラスが攻撃の起点となるが、得点源である⑨富永がテクニカルファウルを宣告されベンチへ下がる万事休す。終始、自分たちの攻撃スタイルを貫いた飛龍が69対62で逃げ切り、決勝へ駒を進めた。

記入者 長門 智史